

令和4年8月3日から4日にかけて、山形県では置賜を中心に前線や低気圧の影響により、線状降水帯が発生し、記録的短時間大雨情報や県内初の大雨特別警報が発表されるなど、これまでに経験したことのないような非常に激しい雨が降り続く状況となりました。

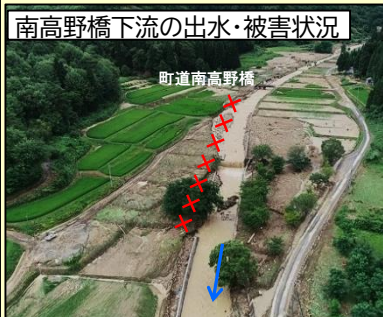
特に飯豊町内を流れる萩生川・小白川では、河川からの溢水(いっすい)により、至る所での河岸崩壊や上流からの土砂などによる河道埋塞、また川沿いの宅地や農地の浸水等甚大な被害が発生しました。

被害にあわれた皆様には、改めてお見舞い申し上げます。

大雨から1カ月が経過し、現在県では、河道に埋塞した土砂の撤去や被災箇所への土のう設置などの応急復旧を全速力で進めています。萩生川・小白川の状況を中心に、早期復旧への取り組みについて地域の皆様にお知らせしてまいります。

●豪雨よる出水・被害状況●【萩生川】

南高野橋下流の出水・被害状況



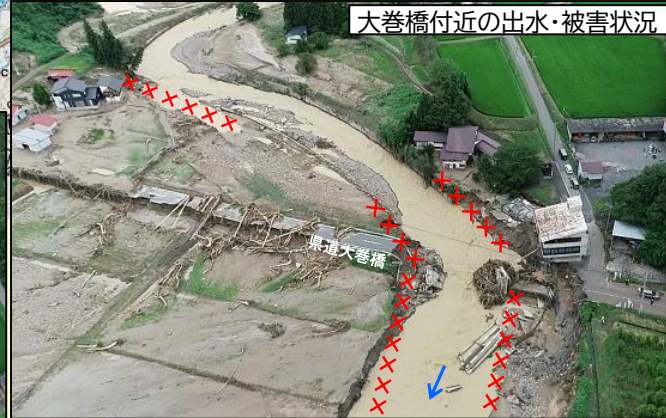
弥五郎橋付近の出水・被害状況



二反田橋付近の出水・被害状況

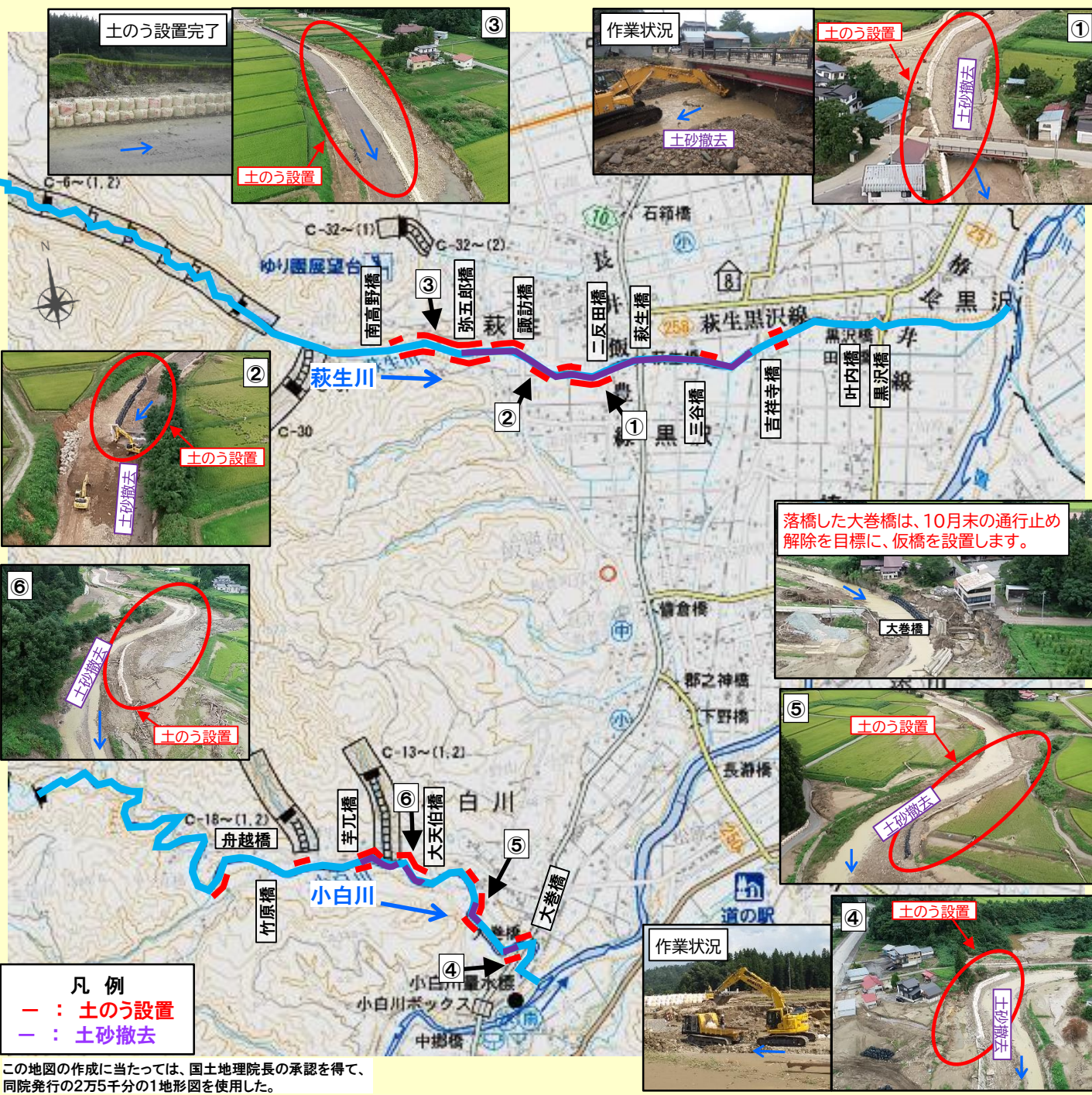


●豪雨よる出水・被害状況● 【小白川】



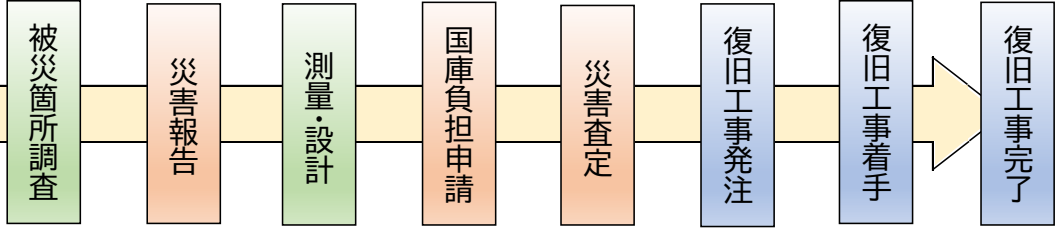
● 応急復旧の状況 ●

・被害拡大防止のため、土のう設置や埋塞土砂撤去等の応急復旧を行っています。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。

● 災害復旧事業の流れ ●



今はここです
(9月15日時点)

10月下旬頃から
順次行います

国への申請・査定の後、被災箇所の本格的な復旧工事に着手します。